

賃貸住宅入居者に 宅配ボックスのニーズが急上昇！

監修：株式会社プロボックス 代表取締役 米倉 正

再配達の量が社会的な問題に

国土交通省2018年の発表によると、2017年の宅配便数は年間約42億個。1992年には年間約10億個だったものが、ネット通販市場の拡大で約4倍と大きく増えています。そこで問題となっているのが受取人不在で宅配業者が持ち帰りを余儀なくされる再配達問題。2017年では受取人の不在率が15%にも上りました。そして年間で42万トンものCO2排出が宅配便の再配達によって引き起こされているそうです。



賃貸入居者も宅配ボックスを求めている

宅配便の不在再配達率は社会問題であると同時に、入居者の利便性の問題でもあります。「全国賃貸住宅新聞社」の2018年調査では、入居者に人気の設備ランキングで、宅配ボックスが単身者は2位、ファミリーで4位になりました。単身向け物件で2015年に初めて10位に入ってから、その人気は年々高まっています。最近では新築賃貸住宅の多くに宅配ボックスが設置されるようになってきました。また、既存の賃貸住宅の空室対策として設置するケースも増えています。国土交通省も宅配ボックス設置部分の容積率緩和を決定し、より導入がしやすくなっています。

	単身者向け物件		ファミリー向け物件	
	2017年	2018年	2017年	2018年
1位	インターネット無料	インターネット無料	インターネット無料	インターネット無料
2位	エントランスのオートロック	宅配ボックス	エントランスのオートロック	追い焚き機能
3位	宅配ボックス	エントランスのオートロック	追い焚き機能	エントランスのオートロック
4位	ホームセキュリティ	備え付け家具・家電	宅配ボックス	宅配ボックス

全国賃貸住宅新聞「入居者に人気の設備ランキング2018年度版」
※全国322の不動産会社を対象にアンケート調査

裏面では宅配ボックスの導入ポイントを解説！

不動産のご相談は
当社まで

賃貸住宅に導入しやすい宅配ボックス

コストの安さが導入メリットのひとつ

宅配ボックスを設置するメリットのひとつは、比較的少ない設備投資で賃貸物件の魅力をアップできる点です。

間取りの変更やキッチン等の設備の導入などは、大掛かりでコストも高くなります。しかし宅配ボックスは、設置コストが効果の割には安価だと言えます。

機械式と電気式の2つがある宅配ボックス

宅配ボックスには「機械式」と「電気制御式」の2種類があります。

機械式のメリットは外部電源を利用せずに運用できるので、設置場所を選ばないこと。

電気制御式にはオフラインの「自主管理型」とオンラインの「集中管理型」があり、それぞれ異なった特徴を持ちます。

電気制御式(自主管理型)は 外部電源を利用し、タッチパネルなどで開錠。セキュリティ性が高いことがメリットです。

電気制御式(集中管理型)は遠隔操作でメーカー側が管理をするため、管理会社の手間がかからないメリットがあります。

設置スペースも自由度が高い

共同住宅における「宅配ボックスの設置促進」では、共用廊下と一体になった宅配ボックスの設置スペースにおける床面積を(共同住宅の場合は上限なしで)容積率の計算対象から除く、という建基法の運用が通知されました。

これにより、既存のアパート・マンションでも設置する場所を選びやすくなりました。設置する場所としては、やはり郵便受け近くが便利です。宅配ボックスのサイズも様々なものがありますので、賃貸住宅の状況に合わせてぴったりのものを選びと良いでしょう。

ぜひ管理会社などに相談してみましょう。



屋根の必要がない、雨風に強い屋外型



集合住宅では郵便受けスペースが便利



共有スペースに設置した電子式の実例

「住もう」に、
寄りそう。

For perfect
estate management.



(一社)全国賃貸不動産管理業協会(通称:全宅管理)は、全宅連を母体として設立された賃貸管理業界最大の会員数を有する団体です。全宅管理では、賃貸管理業の適正化や標準化を図り、業界の健全な発達に寄与することを目的とした各種事業を行っています。

ホームページはこちらから検索

全宅管理

検索

<http://www.chinkan.jp/>